

1 「といてみたい」「考えてみたい」～意欲を高める学習課題の提示

<テーマ>

立体図形の投影図について考える学習を通して、立体の性質に関心をもたせる取組

(気仙沼市立条南中学校)

<実践例1> 中学校1年生 立体の投影図

1 本時のねらい

- ・それぞれの立体には、投影図の方向によって特徴的な形があることを理解させ、立体名を決定するためには、立面図，平面図，側面図が必要であることを気付かせる。

2 授業の流れ

(1) 導入

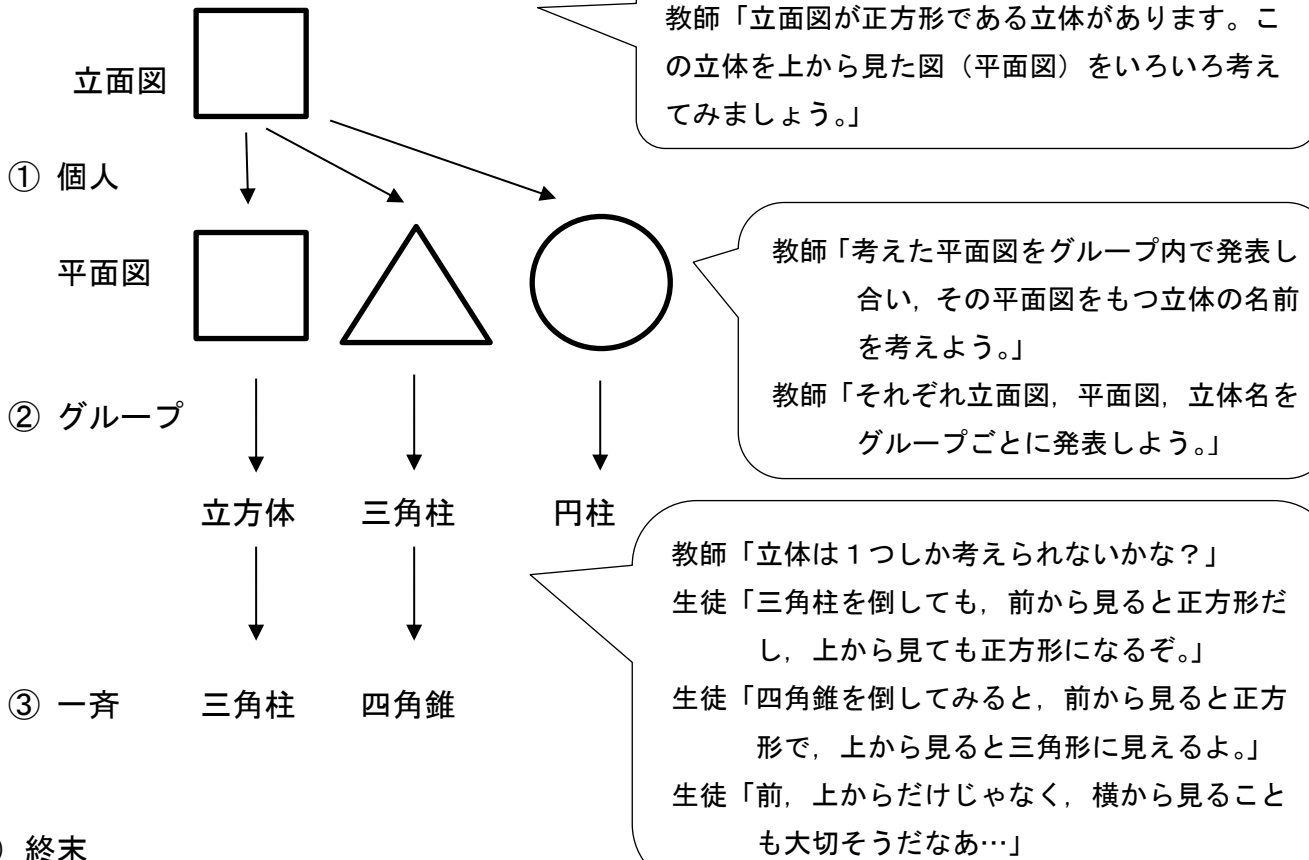
①身近にある立体を用意し、前から見た図と上から見た図がどんな形になるかを考える。

例：円錐→パーティー用帽子，メガホン 立方体→サイコロ

②学習課題を提示する。

『いろいろな立体の投影図はどのような図形になるか考えよう。』

(2) 展開



(3) 終末

- ① 振り返りを記入する。
- ② 身近な例を紹介する。

教師「ものを作るとき設計図は、平面図，立面図，側面図の3つが必要です。よく使われるのは、第三角法という方法です。」